

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文獻	症例	適正 使用 増量	感染症(PF)	出典	概要
338	2007/07/26	70338	CSLベーン ング	乾燥濃縮人アンチトロンピンⅢ	乾燥濃縮人 アンチトロン ピンⅢ	ヒト血液	米国、ドイ ツ、オース リア	有効成分	有	有	有	ウイルス感染	Transfusion 2007; 47: 162-170	輸血により、サルファemyウイルス(SFV)感染が起るかを アカゲザルを用いて調べた。感染ザルの血液を非感染ザ ルに輸血したところ、輸血されたザルの血液から8週後に プロウイルスDNAが検出され、その1週間後にセロコン バージョンが起こった。血しよう中に検出限界下限のSFV が検出された。また感染29週目に唾液中にSFVが検出さ れた。輸血によりSFVが感染することが初めて示された。
339	2007/07/27	70339	日本オル ガン	①下垂体性性腺刺激ホルモン ②胎盤性性腺刺激ホルモン	①下垂体性 性腺刺激ホ ルモン ② 胎盤性性腺 刺激ホルモ ン	①更年期婦 人尿 ②妊婦 尿	①オランダ ②ブラジル	有効成分	有	無	無	デング熱	ProMED- mail20070103.0030 、ProMED- mail20070612.1912	State Secretary of Healthによると2006年にブラジルでは デング出血熱患者は215名で、40名が死亡した。215例中 44例は確定症例である。デング発生率はAndes aegypti蚊 の繁殖増加と関係する。発生傾向は増加しており、2007 年最初の4ヶ月におけるデング出血熱患者は288名で、う ち死亡例は38例である。
340	2007/07/27	70340	アボット ジャパン	パリビズマブ(遺伝子組換え)	パリビズマブ (遺伝子組 換え)		ドイツ	有効成分	有	無	無	クロストリジウ ム感染	共同通信 2007年2 月22日	オーストラリアのVictoriaで、一人のドナーから臓器移植を 受けた3例が死亡したが、未知のウイルスが原因であっ た。このウイルスはリンパ性脈絡髄膜炎ウイルスと近縁で あったが、既存のスクリーニング法では検出されなかつ た。454 Life Sciencesによって確立された迅速シーケン シング技術とGreene Laboratoryによって開発されたバイ オインフォマテイクスアルコリスムAによって発見された。
341	2007/07/27	70341	アボット ジャパン	パリビズマブ(遺伝子組換え)	マウスミエ ローマ細胞	マウス培養細 胞株	米国	製造工程	有	無	無	クロストリジウ ム感染	共同通信 2007年2 月22日	千葉県船橋市立医療センターは22日、昨年2月に搬送 され死亡した50歳代男性から、牛や羊などに高熱などの 激しい症状を引き起こして死亡させた「気腫菌」が検出 されたと発表された。この菌は土の中に多く生息するが、人 への感染が確認されたのははじめてのことである。
342	2007/07/27	70342	アボット ジャパン	パリビズマブ(遺伝子組換え)	トランスフェ リン	ウシ血液	ニュージー ランド	製造工程	有	無	無	クロストリジウ ム感染	共同通信 2007年2 月22日	070340に同じ
343	2007/07/27	70343	アボット ジャパン	パリビズマブ(遺伝子組換え)	リポプロテイン	ウシ血液	オーストラ リア、ニュー ジーランド	製造工程	有	無	無	クロストリジウ ム感染	共同通信 2007年2 月22日	070340に同じ
344	2007/07/27	70344	アボット ジャパン	パリビズマブ(遺伝子組換え)	ウシ血清ア ルブミン	ウシ血液	ニュージー ランド	製造工程	有	無	無	クロストリジウ ム感染	共同通信 2007年2 月22日	070340に同じ